

# 自 己 評 価 表

愛媛県立松山商業高等学校 定時制  
学校番号 (25)

教育方針	個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求する人間の育成に努め、新しい職業観のもとに豊かな情操を身に付け、勤労と責任を重んずる資質を養い、国家社会の有為なる形成者として創造性と実践力に富む心身ともに健全な商業人の育成を期する。	重点目標	地域社会に根ざした商業教育の推進 — 地域を活性化させる人材の育成 —
------	--	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
教科	各種検定試験への挑戦	各種検定試験の取得に全員が挑戦していきます。(挑戦率100%) A: 100%、B: 99%~80%、C: 79%~60%、D: 59%~40%、E: 40%未満	A	全生徒が、各自の学習到達度に応じた検定試験に挑戦し、取得に向けて学習に励んだ。挑戦率は100%であった。	自分のペースや難易度に合わせて検定試験に挑戦させ、自信や達成感を持たせたい。
		各種検定試験合格率70%以上を目指します。 A: 70%以上、B: 69%~60%、C: 59%~50%、D: 49%~40%、E: 40%未満	B	合格率は61.5%である。意欲的に上位級に挑戦するなどして70%は達成できなかったが、それぞれが目標を持ってこつこつと努める姿が見られた。	検定試験への意欲を引き続き高め、不合格者は学習を深めて再度挑戦させるか、または上位級を目指させたい。
指導	漢字テストへの挑戦	漢字テスト平均80点以上の生徒50%以上を目指します。 A: 50%以上、B: 49%~40%、C: 39%~30%、D: 29%~20%、E: 20%未満	B	漢字テスト平均80点以上の生徒は47%と目標には届かなかった。臨時休業の影響もあり、前半の学習状況は思わしくなかったが、後半は意欲的に取り組む生徒が増え平均点も上昇した。	SHRで漢字練習に取り組む学年もあり、意欲的な生徒が増えてきた。反復練習によって基礎的・基本的な漢字能力の定着を図るとともに、テスト日に欠席させない指導も必要である。
	分かる授業の展開	分かりやすい授業を実践し、授業の満足度100%を目指します。 A: 100%、B: 99%~90%、C: 89%~80%、D: 79%~70%、E: 70%未満	D	生徒アンケート「基礎・基本が身に付いてきているか」が0.1ポイント低下し2.9、「楽しい授業になっているか」が0.1ポイント上昇し3.0となっている。合計74%が肯定的評価である。	常に生徒の反応をフィードバックしながら、授業を進めているところであるが、電子黒板等ICT機器を活用し、さらに分かりやすい授業を工夫・研究する必要がある。
特別活動	学校行事への参加	学校行事に主体的に取り組む生徒90%以上を目指します。 A: 90%以上、B: 89%~80%、C: 79%~70%、D: 69%~60%、E: 60%未満	B	出席率は82.2%となっており、目標には届いていない。	昨年までは学校行事への出席率は良かったが、新型コロナウイルスの影響を受けて低下している部分があると考えられる。
生徒指導	出席率の向上	出席率90%以上を目指します。 A: 90%以上、B: 89%~80%、C: 79%~70%、D: 69%~60%、E: 60%未満	B	出席率は81.7%となっており、目標にはとどいていない。	アルバイトより学業を優先することがアルバイト許可の条件ではあるが、生徒によっては、ややもすると逆転している場合もあり、指導を継続したい。
	1か年皆勤者	1か年皆勤者・精勤者30%以上を目指します。 A: 30%以上、B: 29%~25%、C: 24%~20%、D: 19%~10%、E: 10%未満	E	一か年皆勤者は1名(5.8%)で目標には届いていない。	従来から学期間皆勤賞を設定しており、短期的目標としてこれに挑戦させ、皆勤の足がかりにしたい。
	挨拶の励行	さわやかな挨拶ができる生徒100%を目指します。 A: 100%、B: 99%~90%、C: 89%~80%、D: 79%~70%、E: 70%未満	B	ほとんどの生徒が、登下校時や校内での挨拶ができています。授業の開始や終わりの挨拶もさわやかな挨拶ができています。	教員からの言葉掛けに対して挨拶を返している生徒が多い。これからは、進んで積極的な挨拶ができるよう指導していきたい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
	生徒理解	年間5回以上の個人面談を行うなど、生徒理解に努めます。 A:5回以上、B:4回、C:3回、D:2回、E:1回未満	B	年度初め(1回)、各学期末(3回)、教頭面接(1回)を実施するとともに、必要に応じて個別面談を実施するなど、積極的な生徒理解に努めた。	今年度は退学者が2名あったが、より早期にきめ細かく生徒の内面に寄り添う指導が必要であり、さらなる充実を行いたい。
保護者連携	保護者の学校行事への参加	保護者の学校行事への出席率50%以上を目指します。 A:50%以上、B:49%~40%、C:39%~30%、D:29%~20%、E:20%未満	A	新型コロナウイルス感染症の影響で予定どおりの成果は出なかった。その代替手段として、下段のホームページの更新により、学校行事の様子を詳しく伝えられるように努めた。	来年度の社会情勢にも影響されるが、従来の文書による案内だけでなく、電話でのアナウンスや、担任から直接話しをしてもらう機会なども増やしていき、学校行事への保護者の関心を高めていきたい。
		ホームページにより、生徒の活動状況を積極的にお伝えします。	A	ホームページの更新実績は年間137回となり、積極的な情報発信ができた。生徒は積極的に閲覧しており、好評を得ている。	PTA総会や保護者懇談、家庭訪問でも積極的に保護者にホームページの存在を宣伝してもらい、保護者からの認知度を高めていきたい。
進路指導	進路実現の支援	各機関との連携を密に行い、進路実現100%を目指します。 A:100%、B:99%~90%、C:89%~80%、D:79%~70%、E:70%未満	E	ハローワーク松山と連携を密にし、夏季休業中から生徒と共に相談に行くなど、生徒の希望に沿う形で指導を行った。就職内定率は50%となった。	早い段階から具体的な進路実現を意識させ、各機関との連携を密にする。なお、就職未決定者1名(卒業生)については、本人及びハローワーク松山と引き続き連携していく。
教職員	業務改善・働き方改革	年次有給休暇の取得率50%以上を目指します。 A:50%以上、B:49%~40%、C:39%~30%、D:29%~20%、E:20%以内	A	令和2年8月末(8月末締め)時点での取得率は、82.2%であった。9月以降も順調に取得でき、長期休業を有効に活用した休暇の取得促進が図られている。	次年度は取得率目標を80%以上に設定し、日頃から休暇の取得しやすい職場の雰囲気作りをより促進していきたい。

※評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。